

指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名: 農林水産部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県民の森 (三重郡菟野町大字千草字西貝石7181-3)
指定管理者の名称等	特定非営利活動法人 三重県自然環境保全センター 理事長 森豊 (桑名市星川858-3)
指定の期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	ア 森林公園の森林、植物等の管理に関する業務 イ 森林公園の施設、設備の維持管理及び修繕に関する業務 ウ 森林公園の施設、設備の利用に関する業務 エ 自然体験型のイベントの実施に関する業務 オ ホームページ等による森林公園内の自然情報やイベント情報の提供に関する業務 カ 生物多様性の保全に配慮した取組に関する業務 キ その他の森林公園の管理上必要と認める業務

2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H23	B		・5年間の管理期間を通じて、公園内の森林、植栽木、芝生広場等の植物管理、自然学習展示館や消防施設、浄化槽、遊具等の保守点検などの管理業務を適正に実施した。 ・巡回活動による異常個所の早期発見に努め、施設の適正な維持管理や環境の美化に取り組んだ。 ・通常の管理については、公園ボランティア「モリメイト」と連携し、効率的に管理を行った。
H24	B		
H25	B		
H26	B		
H27	B		

3 施設の利用状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H23	B		・施設利用者については、初年度は目標数値を下回ったが2年目には上回り、その後は毎年目標を達成した。特に平成27年度については145,657人と、目標を大きく上回った。 ・ホームページやブログ、SNSなどを活用し、施設及びイベントについての積極的な情報発信を行った。
H24	B		
H25	B		
H26	B		
H27	A		

4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	116,535,700	事業費	14,340,877
利用料金収入	0	管理費	103,492,801
その他の収入	1,973,103	その他の支出	0
合計 (a)	118,508,803	合計 (b)	117,833,678
収支差額 (a)-(b)	675,125		

参考

利用料金減免額	
---------	--

5 成果目標及びその実績

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間における成果目標及びその実績						
			成果目標項目	目標値	H23	H24	H25	H26	H27
H23	C		施設利用者数	120,000人	104,787人	128,241人	130,632人	137,989人	145,657人
H24	A		施設利用者の満足度	80%	95.2%	93.2%	91.1%	92.7%	88.6%
H25	B		自然体験型イベントの満足度	92%	95.0%	94.8%	94.0%	95.3%	94.4%
H26	A								
H27	B								
全期間におけるコメント									
<p>・施設利用者数は、指定管理の初年度以外目標数値を上回り、その後毎年増加傾向にあるなど、利用者の増加に向けた取組が評価できる。</p> <p>・施設利用者の満足度及び自然体験型イベントの満足度については、5年間を通じて目標を達成した。</p>									

6 総括コメント

<p>・三重県自然環境保全センターは、森林管理についての専門的な知識や技術があることや、現地管理責任者を専属配置し、危機管理や責任体制の十分な計画を立て、指定管理者として必要となる組織的な管理運営体制が確立されていたことが評価され、選定された。希少植物の保護など生物多様性に配慮しつつ、野生生物の観察や学習もできる場所としての管理方針が提案され、県民の心身の健康の増進及び森林環境教育の場としての、十分な機能発揮と長期的な森林の姿を見据えた適切な森林管理が期待された。</p> <p>・施設利用者については、ホームページ等による積極的な広報や多数のイベント開催により、利用者が増大した。またリピーターも増加している。</p> <p>・日本野鳥の会三重、菰野町教育委員会、森の風ようちえんなど、地域の活動団体等と連携し、イベントを実施した。また、近隣のキャンプ場や自然体験施設、学童クラブ、企業などへの出張イベントも積極的に実施し、森林環境教育の普及に努めた。</p> <p>・施設の管理については、公園ボランティア「モリメイト」と連携して効率化を図るなど適正な管理に努めた。また、希少植物についても、モリメイトと共同で調査、保全、利用者への啓発を行うなど、生物多様性の保全に努めた。</p> <p>・業務執行体制では、事務分担や責任の所在を明確にするとともに、担当者を本所に2名、現地管理事務所に4名配置している。</p> <p>・危機管理に関しては該当マニュアルを作成し、自然災害や公園内の事故への対応や報告体制について平日、休日ともに整備し、適切な対応を行った。</p> <p>・5年間を通じ、施設管理、成果目標への取組など積極的に行ってきたと評価できる。同団体は、平成28年度以降も指定管理者に選定されており、より一層の利用者満足度向上に向けた取組を進めることが望まれる。</p>

「2 管理業務の実施状況」の自己評価	「A」	業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
	「B」	業務計画を順調に実施している。
	「C」	業務計画を十分には実施できていない。
	「D」	業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。
「3 施設の利用状況」 「5 成果目標及びその実績」の自己評価	「A」	当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
	「B」	当初の目標を達成している。
	「C」	当初の目標を十分には達成できていない。
	「D」	当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。
県の評価	「+」(プラス)	指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
	「-」(マイナス)	指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
	「 」(空白)	指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。